

2020年10月14日

新型コロナによる経済不調から急回復する中国経済 ～日系飲食店の状況を中心として～

上海事務所長 山下 一輝

1. 経済が急回復する中国

コロナ禍により世界同時不況の様相を呈する中、中国経済はいち早く最悪期を脱している。中国国家統計局によると2020年第2四半期の実質GDP成長率は前年同期比3.2%で、第1四半期のマイナス6.8%から急回復を遂げた。

また、6月にIMFが発表した世界経済見通し（改訂版）においても、日本をはじめとした先進諸国の年間経済成長見通しが軒並みマイナス成長と見込まれる中、中国は1.0%と、プラス成長の見通しを維持している。これは、中国政府が様々な経済政策¹を打ち出したことにより、市民の消費活動が戻ってきていることの表れだろう。

2. 日系飲食店への影響と上海事務所の取り組み

(1) 日系飲食店への影響

コロナ禍により、最も影響を受けた業界の一つが外食産業である。上海市内では、市政府からの指示により2月は営業することができず、3月以降は当局の許可を受けた飲食店のみ順次再開された。再開に当たっては、コロナ感染防止対策（消毒液の設置、客席間のスペース確保、店舗内の徹底清掃等）を講じることが必須条件であり、従前にはないコストが飲食店経営に影響を与えた。また、人々が集まる飲食店を敬遠する向きが強く、フードデリバリー等で対応した飲食店も多かったが、閉店を余儀なくされた飲食店も多かった。日系飲食店の場合、駐在員を主要顧客としている店も多く、渡航制限により日本に戻った駐在員が上海に戻れない中、経営に大きな影響を受けた店も多かった。

しかし、企業の事業活動が順次再開したことや、消費刺激策による飲食店で使えるクーポン等の効

	1-2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
社会消費財小売総額	△20.5	△15.8	△7.5	△2.8	△1.8	△1.1	0.5
外食	△43.1	△47	△31.1	△18.9	△15.2	△11.0	△7.0
小売り	△17.6	△12	△4.6	△0.8	△0.2	0.2	1.5

(表1) 中国の社会消費財小売総額前年同期比推移
出典：国家統計局、JETRO 上海の資料を基に筆者作成

¹ 中国政府は、国内需要を喚起させるため、3月から自動車のナンバープレートの発給緩和策や自動車購入補助金の支給を実施するなど販売促進策を実施。また、地方政府は、4月18日の時点で総額約57億元（約855億円、1元＝約15円）の消費クーポンを市民に交付。5月に開催された2020年度政府工作会議では、中国政府は2兆元の特別財政資金を投下し、経済を下支えする方針を決定。この方針に沿って、各地方政府は、オンラインとオフラインを融合した大型消費キャンペーンを実施。

果もあり、外食の売上は、依然として対前年割れしているものの、3月から8月にかけて回復傾向にある（表1）。

（2）上海事務所の取り組み

コロナ禍において、人の往来は制限があるものの、日本からの物流は止まっていない。また、「安心・安全」な日本産食品に対する需要は、コロナ禍をきっかけにさらに高まっており、関連企業にとってはビジネスチャンスとなるであろう。

当事務所としても、食を通じて本県をPRするため、本県産品を提供する日系飲食店4店舗と連携し、6月に「福岡フェア」を開催した。フェアの様子は西日本新聞でも紹介されたほか、定員を超える応募があった「福岡郷土料理教室」



（写真1）「福岡郷土料理教室」の様子

（写真1）は、時事通信で当日の様子が紹介された。

料理教室では観光PRも併せて実施した。参加者からは「渡航解禁になればまずは福岡に旅行に行きたい」「早く福岡のグルメを満喫したい」といった声も聞かれ、本県への関心を喚起することができた。

また、日本産酒のニーズも根強く、9月11日には本県の友好提携都市・江蘇省にある蘇州市相城区政府が、当事務所との主催により「蘇州中日商品交流会（日本産酒PRイベント）」を開催。当日は蘇州市を中心に飲食店・ホテル・小売り関係者ら約100名を招聘し、80種類³（うち本県産43種類）の日本産酒を出品して、取引拡大に取り組んだ。出品バイヤーからは「蘇州は想像以上に購買意欲が高く、販路拡大が見込める」との反応もあり、今後の展開に期待したい。

3. 今後の見通し

コロナ禍をきっかけに、消費のオンライン化も顕著である。中国国家统计局によると、2020年1～7月のカテゴリー別ネット通販販売額の伸びが最も大きいのは食品類で、前年同期比38.2%増となっている。また、中国インターネット情報センターの報告⁴によると、ライブコマース（生放送の動画を配信し、動画内で商品等を紹介・販売する手法）の利用者が6月末時点で3億900万人に達し、2020年上半期で最も伸び率が高い個人のネット利用の形態となっている。今後は、同手法による県産品の販売なども有望な販売チャネルだろう。

当事務所としては、今後も引き続きコロナ禍での中国経済を注視しており、中国市場について何かご質問等があれば、いつでもお問い合わせいただきたい。

³ 5県24酒蔵80種類（清酒46種類、焼酎12種類、リキュール22種類）。うち本県は43種類。

⁴ 中国インターネット情報センター「中国インターネット発展状況統計報告」2020年9月